

平成29年度事業計画について

H29. 6 ひろしま医療関連産業研究会

■ 平成29年度運営方針

○ 広島県では、県内企業の優れたものづくり技術を活用し、生産額1,000億円の医療関連産業クラスター形成を目指して、医療・福祉分野における新たな産業の育成に取り組んでいるところです。

本研究会では、現在、約100の会員企業等が、機器・サービス開発、販売など約150のプロジェクトに取り組んでおり、昨年度は、このような会員企業の取組をさらに加速させるため、これまでの活動に加え、口腔ケア分野などでの新規プロジェクトの組成や企業の個別プロジェクトの課題解決に向けたワークショップなどの事業に重点的に取り組みました。

○ これらの取組により、企業における医療・福祉機器の開発や上市に向けた新たな取組も増えてきましたが、一方で、新規プロジェクト組成に時間を要すること、組成時において専門機関の活用が十分でないこと、また事業化に向けた販路開拓等も十分でないといった課題もありました。さらに広島における医工連携の取組をさらに発展させるためには、新たなイノベーション創出に向けた取組も必要となっています

<会員企業のご意見等>

○ 研究会活動に対しては会員企業の皆様からのアンケート等で一定の評価を得るとともに、本年度も事業化・製品化に向けた事業として、補助金による支援、マッチング等のコーディネート活動、ワークショップ、メルマガ、HPでの情報提供などへの要望がありました。

<H29運営方針>

○ これまでの活動状況や課題と会員企業の皆様からのご意見等を踏まえ、

- 1 県内企業の生産拡大・販売促進
- 2 県内企業の受注拡大
- 3 イノベーション創出

に向けた事業に重点的に取り組むこととしました。

このような取組に際しては、事業活動の目的を明確化し、企業、医療・福祉関連施設、コーディネーター、大学、行政等の関係団体と連携することで、事業化へ繋げる環境の整備を図っていきます。

<H29推進体制>

○ ひろしま産業振興機構の常勤コーディネーターを増員し、推進体制を強化します。

(H28:常勤2名 ⇒ H29:常勤5名 ※7月～)

○ 全国レベルの企業間連携や研究機関との連携、先進地域との連携などを図り、企業の課題解決へ繋げるための技術動向調査、専門家派遣による相談、マッチング支援等を実施していくこととしております。

■ 活動のねらいと具体的活動

I 県内企業の生産拡大・販売促進に向けての事業

(1) 開発支援

○ 県補助金制度（事業創出補助）、外部資金獲得（経産省、AMED）

事業項目	内 容	時期等
県補助金に関する支援 （ひろしま医療関連産業創出事業補助）	コーディネーターによる補助申請の事前指導、助言、採択後の事業化へのフォローを行います。 ※一般：上限300万円、補助率1/2 連携：上限600万円、補助率2/3	公募5月、決定6月 採択予定5件程度
経産省・AMED採択事業に関する支援	各事業の申請時の指導、プロジェクトマネージャーの派遣など課題解決に向けて支援を行います。 ※H28は経産省中核企業創出支援事業・AMED医工連携事業化推進事業の継続事業が対象	—

○ 実証フィールドの活用、専門家意見交換会

事業項目	内 容	時期等
医療機器：実証フィールドの活用	会員企業の医療機器開発の企画、試作品、製品等に関し医療現場等での評価、意見を得ることで、事業化を支援します。	随時
福祉機器：実証フィールド活用・専門家意見交換会	会員企業の福祉機器開発の企画、製品に関して福祉現場等での実証や、理学療法士・作業療法士などの専門家との意見交換を行い事業化を支援します。	随時 意見交換会は秋頃 （調整中）

○ コーディネーター、国（経産省）の伴走コンサル・専門家、県総合技術研究所等による個別支援

事業項目	内 容	時期等
コーディネーター（産振構医工連携推進センター）による支援	医療・福祉機器の開発、事業化に伴う企業の課題についての相談対応～内容により他の専門家と連携して個別支援を実施します。	随時
国（経産省）の伴走コンサル・専門家派遣による個別支援	医療機器の開発、事業化に伴う企業の課題について経済産業省の伴走コンサル、専門家派遣により企業の個別課題の解決を支援します。（窓口は県医工連携PT又は産振構）	随時
県総合技術研究所、県薬務課等による指導・助言等	医療・福祉機器の開発、事業化に伴う課題の相談対応、技術支援等を行います。（窓口は県医工連携PT又は産振構）	随時

○ 口腔ケア・ワークショップ

事業項目	内 容	時期等
口腔ケア・ワークショップ	口腔ケアの必要性について厚生労働省や老齢歯科医学会で意識啓発や疾病認定への取組が進められています。今年度は、訪問歯科診療の実際などをテーマにビデオによる現場紹介などを行い、新規事業創出の機会提供を行います。	第1回ワークショップ 7月開催予定 5社程度（継続）

(2) 販売促進

○ 福祉用具展示会出展&セミナーin 広島への出展・宣伝

事業項目	内 容	時期等
福祉用具展示会&セミナーin 広島の参加による展示・販路開拓	開発した機器、製品についてのブース展示、セミナーでの宣伝により、参加する商社、福祉施設・病院スタッフ、理学療法士・作業療法士への認知度アップや販路開拓の契機づくりを図ります。	9月8, 9日開催 (広島産業会館) 5~10社程度

○ ケアマネ研修会出展

事業項目	内 容	時期等
ケアマネージャー研修会での展示・販路開拓	開発した機器、製品について、研修会に参加する商社、福祉施設・病院スタッフ、理学療法士・作業療法士による意見聴取、販路開拓の契機づくりを図ります。	11月開催 (三次市) 5~10社程度

○ 既製品販売促進支援（広報、パンフ等作成）（調整中）

事業項目	内 容	時期等
研究会企業の製品についての広報、パンフレット作成等	会員企業がこれまで開発した製品（一般消費者向け福祉機器、雑品）を、製品一覧の形でパンフレット、HPを作成し、関係施設等への配布、通販での取扱いに向けて取り組めます。（調整中）	8月以降関係施設等配布予定

○ 展示会出展補助金

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器の展示会出展補助	会員企業が開発した機器、製品を、企業の事業戦略に沿って展示会・学会へ出展する場合の出展費用を助成します。 上限：年30万円/社	5月下旬以降随時募集

○ 販社、商社との個別マッチング活動

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器 についての販路に関する マッチング活動	会員企業が開発した機器、製品の販売に関するア ドバイスや販路の開拓を図るため県内外の販社や商社 とのマッチング活動を行います。	随時

○ コーディネーター、国の伴走コンサル、専門家等による個別支援 (随時)
《再掲》

II 県内企業の受注拡大に向けての事業

(1) 受注機会創出

○ MEDTEC Japan 2017への共同出展

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2017 への 共同出展	・MEDTEC Japan 2017 への共同出展により、来場す る製販企業、商社との商談の獲得、大学や支援機関 との連携の契機とします。 ・次年度の出展に向けて今回の出展状況について会 員企業へ情報提供します。	4月19日～21 日(東京ビックサイ ト) 8社参加 出展状況情報提供 は7月頃

○ MEDTEC Japan 2018への共同出展<準備>

事業項目	内 容	時期等
MEDTEC Japan 2018 への 共同出展	・MEDTEC Japan 2018 への共同出展により、来場す る製販企業、商社との商談の獲得、大学や支援機関 との連携の契機とします。 ・出展に向けて出展戦略を策定し企業の募集や説明 会を実施します。	H30年4月(東京 ビックサイト) 8社参加予定 出展企業の募集は 9月頃から、説明会 は3月実施予定

○ MEDI X関西(広島市広域都市圏共同出展事業)への出展

事業項目	内 容	時期等
MEDI X関西への共 同出展の支援	・広島市のMEDI X関西(インテックス大阪)で の広域都市圏共同出展に参加し、来場する製販企業、 商社との商談の獲得、大学や支援機関との連携の契 機とします。	H30年2月 4社程度 出展企業の募集は 11月頃(調整中)

○ 製販企業等との個別マッチング支援

事業項目	内 容	時期等
経産局等が主催するニーズ商談会でのマッチング機会の提供	医療機器に関するニーズ商談会等に向けた会員企業とのマッチングを実施します。 ・関東経済産業局ニーズ商談会（8月、2月） ・大阪商工会議所商談会（10月） ・中国経済産業局（医の芽ネット）ニーズ発表会（11月～）（※時期は昨年度実績）	各商談会のニーズ発表後
個別企業からのニーズに基づくマッチング機会の提供	・関東・関西方面の医療機器メーカーのOEM等のニーズを把握するとともに会員企業の技術分野等に 応じたマッチングを実施します。 ・MTJAPANマッチングサイトへの登録を推進し、マッチング機会の増加を図ります。	随時
展示商談会でのマッチングのフォローアップ	・展示会（MEDTEC Japan や本郷展示商談会）後の企業マッチングのフォローを行います。	随時

○ 展示会補助金・試作品補助金

事業項目	内 容	時期等
開発した医療・福祉機器等の展示会出展補助	会員企業が開発した機器、製品や部材加工技術等を、企業の事業戦略に沿って展示会・学会へ出展する場合の出展費用を助成します。上限：年30万円/社	5月下旬以降随時募集
展示会や個別商談等で必要な試作品製作補助	会員企業が事業戦略に沿った展示会出展や個別商談の際に必要な試作品を製作する場合の製作費用を助成します。上限：年50万円/社	5月下旬以降随時募集

○ 中小企業医療機器参入体験から学ぶセミナー

事業項目	内 容	時期等
中小企業医療機器参入体験から学ぶセミナーの開催	医療機器製造に関する分野に参入した県内外の中小企業から、参入のきっかけ、参入後の事業展開、課題等についての講演、意見交換を行います。また医療機器製造業取得のメリット等についての説明も行います。 講師（調整中）	8月、10月（調整中） 20社程度

Ⅲ イノベーション創出に向けての事業

広島県において、医療、ヘルスケア分野の新たなイノベーションが生まれやすい仕組みや環境を整備する。

(1) 実証フィールドの構築

○ 広島市内の4基幹病院※の連携による治験・臨床研究フィールド

※広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院

- ・ H25～ 症例集積性の向上（4病院の相互の被験者紹介）
- ・ H27～ 治験等の受託調整（県が窓口となり、4病院に企業からの治験等の受託）
- ・ H28～ 医療関連産業新規参入ガイドブック作成（臨床データ収集のフローと手続き）
- ・ H28～ 研究者向けの臨床研究セミナーの開催
- ・ H29 臨床研究を適正に実施するための事例集の作成 など

○ 医療・福祉現場の徹底的な観察ができる観察フィールド

- ・ H28～ 企業の研究・開発担当者が病院で現場観察、医療関係者との意見交換
分野・疾患の特定⇒病院関係者との面談⇒観察準備⇒病院施設内での観察、意見交換
⇒潜在的なニーズ・課題の発見⇒事業化アイデア出し⇒・・・
- ・ H29～企業の研究・開発担当者が福祉施設等で介護現場を実体験
実体験、介護関係者等との意見交換⇒製品改良、新たな製品のアイデア⇒・・・

(2) バイオデザイン・プログラムの推進

○ インド・バイオデザインとの連携

- ・ H28. 12 広島大学とインド・バイオデザイン（全インド医科大学等）のMoU締結
- ・ H29. 1 広島大学の医師がインド・バイオデザインに派遣（H29. 12まで）
- ・ H29. 6 インド・バイオデザイン（教授、チームメンバー等）が来広
大学病院、県立病院、国立呉医療センター、福祉施設等で視察、意見交換
医療関係者、企業の若手研究者とのワークショップ開催
広島大学イノベーション・セミナーの開催 など

○ ジャパン・バイオデザインとの連携

- ・ H29. 5 スタンフォード大学池野医師の広島大学大学院での特別講義
- ・ H29. 8～ジャパン・バイオデザインのフェローによるセミナー開催 など

○ 広島大学のバイオデザイン・プログラムの実施

- ・ H29. 9～プログラム開設準備

(3) メディカル&ヘルスケア・プロジェクトの組成

○ プロジェクト化

- ・ 医療・福祉現場 × 県内企業 : 重症化予防、口腔機能向上等の広島モデルの構築
- ・ 大学研究者の技術シーズ × 県内外企業 : 革新的医療機器の開発プロジェクトの組成
- ・ AI, IoT, ビックデータ × 県内外企業 : ヘルスケア・プロジェクトの組成